

基本計画の改定版ができました

地域人権教育指導員 宮川淳一

2007（平成19）年に市で策定された「菊池市人権教育・啓発基本計画」（以下、「基本計画」）を改定しました。

◆基本計画は、なぜ必要なのでしょう

「人権教育・啓発推進法」の第5条の「その地域の実情を踏まえ、人権教育及び人権啓発に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する」を受け策定されました。「市民一人一人の人権が大切にされる差別のない明るいまちづくり」を実現するために必要です。

◆今でも差別があるのですか

数年前、市に結婚相手の身元について問い合わせの電話がありました。これは明らかに結婚差別に関する問題です。一昨年の市民意識調査結果でも、部落差別について、どんな人権問題が起きているかの問いに対して、結婚問題が上位を占めています。女性の人権問題も、男は仕事、女は家庭、といった考え方が依然として根深く残っているという結果が出てきました。この他にも、子ども、高齢者、障がい

問い合わせ先
人権啓発・男女共同参画推進課
☎0968(25)7209

者の人権など、私たちの周りには数多くの人権課題があります。◆市では、どのような取り組みをしていますか

菊池市人権・同和教育推進協議会を中心に6部会を設け、行政、学校・園、各種団体、市民が手を取り合いながら、人権教育と人権啓発に努めています。主に、▼就学前教育講演会・実践報告会 ▼人権教育授業研究会・実践発表会 ▼市職員人権・同和教育研修会 ▼ふるさと懇談会 ▼市人権・同和教育研究大会 ▼市人権フェスティバル ▼啓発リーフレット「ふるさと」▼人権・同和教育シリーズ▼市まちづくり推進委員研修などがあります。

乳幼児の健やかな育ちを保障できるよう家庭と地域との連携を深め、学校教育につないでいきます。学校教育では、一人一人に関わりながら豊かな人間性を育てる教育に取り組んでいます。社会教育では、関係団体や地域を軸として、みんなで取り組む体制づくりに努めています。

◆取り組みの効果はありますか

市民の声が直接聞ける「ふるさと懇談会」は、人権意識の変

化を知る大切な機会です。自分たちの住む地域を自らの手で、よりよい地域に変えるために、住民がひざを突き合わせて本音で語り合える場です。

ある区では、地域子ども会が高齢者と交流したことを懇談会で発表し、自分たちのふるさとを大切に思う心を育てる取り組みがありました。世代を超えて、地域をよりよいものにしていくすばらしい実践です。

◆私にできることは何ですか

私たちは、自分のことと重ならない傾向があります。基本計画でも触れています。自分の周りにある人権課題に目を向けましょう。

また、根拠のないうわさ話に流され、思い込みや偏見などで人を判断してしまうことがあります。そのような過ちをなくすために正しい情報を共有する必要があります。一緒に誰もが住みよい菊池市を創っていきましょう。



韓国発見シリーズ 74
いんちちは金です



国際観光マネージャー 金相廷

世界一周旅行をしてみたら

いつか世界一周の旅をしたい。人生のロマンを夢見る人も多いだろう。現在、国連加盟国は193カ国だが、米国の「世界旅行者非営利団体（TCC）」は327の国や地域を旅行地に指定している。

去年の夏、264の国や地域を旅行した韓国人男性が話題になった。イ・ヘウクさん（81歳）、元韓国電気通信公社（現KT）社長だ。彼の初海外訪問は1971年に出張で行った日本だったそうだ。その後1993年に引退してからは夫婦で本格的に海外旅行を始めたという。

イさんはこれまで50年近くかけて世界を旅し、2018年にはTCCからプラチナ会員認証を受けた。

彼がこの大記録を立てられた秘訣は緻密な計画だそうだ。夫婦は元気なうちに遠くの中南米を旅し始めた。1997年から5年間で中南米とカリブ海地域を回り、南極大陸と周辺のフォーランドなどは南米とは別に行った。その後は太平洋の島々、中東、アフリカの順に旅した。

1つの大陸や地域を旅行する

際は、ブロックに分けて全ての国に行けるよう動線を組んだ。アジア各国は暇を見つけて個人旅行や団体旅行で行ったという。

もう1つの秘訣は、儉約と節約だ。「旅先ではハンバーガーで食事を済ませたり、安い宿に泊まったりして費用を最小限にした」と語る。夫婦は今も車を所持していない。移動手段はバス（B）、地下鉄（M）、ウォーキング（W）のBMWだと笑って話す。彼は旅行関連の本を2冊書き、ソウルをはじめ韓国のさまざまなか場で旅行の写真展を開催している。ある会社が2011年に実施した「老後準備実態」アンケートでは「引退生活ロールモデル」1位になった。

彼は世界一周旅行の良さをこう語った。「私たち夫婦は旅行を通して思いやりと協働心を育てました。そして夫婦で思い出を分かち合い、いつも会話のネタが尽きません。これがまさに旅行の魅力です」

豊かに生きるとは、多額のお金を使った贅沢な生活ではなく、心を満足させる温かな生き方ではないか。